

介護体験を



聞く会



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第186号

平成29年7月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-233-0061

*定例会は最終土曜日です。

今月は7月29日(土)です。

主介護者：独居のため、
大家さんや近所の方が協
力してくれる

既往歴

・偏頭痛

・子宮筋腫

・卵巣嚢腫

・低血圧症

・低ナトリウム血症

平成28年11月、頭の

違和感を訴え受診。その

後、市立川崎病院で約1ヶ

月の入院となる。

内服薬

セルトラリン錠50mg

(タ2錠)：意欲低下を

改善し、気分を落ち着か

せる

クロチアゼパム錠5mg

(朝・昼各1錠)：筋肉

や不安の緊張を和らげ、

熟睡できるようにする

セロクエル錠25mg(就

寝前2錠)：気分を落ち

着させる

サインバルタカプセル3

0mg(朝1錠)：意欲低

下を改善し、気分を落ち

着させる

生い立ち

福島県南相馬市で生ま
れ地元の中学を卒業後、

時計製造会社に就職。

18歳の頃、友人に誘わ

れ、上京し就職する。そ

の後結婚し、一男一女を

授かるが30歳の頃、子

供を残し離婚。藤沢で住

み込みで働き、ご主人と

知り合い再婚。

10年程前にご主人が癌

で他界、現在は亡くなる

前に一緒に買いに行った

愛犬とアパート暮らし。

自宅での様子

曜日や日付、時間などが

分からなくなってきたお

り、服薬の声掛けや買い

物など、ご近所の方々に

助けられている。以前は

得意だった料理も、意欲

が湧かず出来ない。また、

幼少期、30-40代頃

の意識消失のトラウマか

ら、浴槽に入ることが出

来ず、シャワー浴。小さ

なことでも考え込んでし

まい、落ち込むと出掛け

ることも出来なくなつて

しまう。デイサービスの

お誘いの電話でも「ごめ

んなさい。迷惑かけてば

かりで…」と何度も謝る

事がある。心配性で出掛

ける前には、ガスの元栓、
消灯など指差し確認を数



出席者(職員)：院長、柳

議題

1. Iさん70歳の経過

と課題の検討

2. 音楽ホール三々五々

館の利用状況

3. その他介護保険制度

の動き

第186回 介護体験を

聞く会

平成29年6月24日(土)

に開催

田CM、柏倉、吉田、板

井、山田、工藤、三浦、

漆原

出席者(家族)：長島さん、

藤田さん、柳澤さん、野々

目さん、森山さん、今野

さん、柴山さん

1. Iさん69才の経過

と課題の検討

「検討の目的」

病気やこれからの生活

の事を考えると、不安や

喪失感に襲われ、意欲が

なくなってしまう方です。

普段は明るく、面倒見の

良い方ですが、気分が落

ち込んでしまうと、デイ

サービスに来ることも出

来なくなってしまうです。

現在抱えている低ナトリ

ウム血症という病気を理

解し、不安の軽減が出来

るよう、デイサービス、

医療機関、地域、行政な

どと連携したケアを考え
て行きたいと思っています。

グループホーム利用者が卓球



氏名：Iさん(女性)

生年月日：昭和22年3

月7日(現在70歳)

介護保険利用状況：要介

護1、週2回火・木利用

利用開始日：平成28年

12月28日

出身地：福島県南相馬市

趣味：編み物、歌

性格：心配性、神経質、

人に慣れるまで時間がか
かる

回行っている。低ナトリウム血症で水分制限されているが、緊張や不安から一日に4リットルも摂取してしまう事もある。

*デイサービスでの様子

送迎：

自立支援のため、電話での声掛けで来室して頂いています。時間通りに準備が出来ず、予定時刻での来室はなかなか出来ません。また、気分の落ち込みが激しい時は「ごめんなさい。休ませて下さい。ごめんなさい。」と言われ、お休みされる事もあります。

朝の会



来室されると、皆さまとお話しされたり、歌ったりととても楽しそうです。体を動かす事も嫌がらず、元気に体操されています。他の人へ気遣いをされる優しい方で、足の悪い利用者さんの立ち上がりをお心配して、介助して下さる事もあります。排泄：ボランティアさんのレクリエーションなどで外出する時などは、「緊張しちゃう」と仰り、かなり頻回になります。食事：「美味しい」と仰り、完食されています。周りの方々と話しながら、楽しそうに召し上がっています。

*午後のプログラム：どのプログラムにも笑顔で参加されています。特に作品作りやおやつ作りなどがお好きなようで、熱心に取り組まれています。上手く出来ない方を助けたり、説明しながら行ったり、丁寧に行っています。ボーリングや輪投げなど順番に行うプログラムでは「お先にどうぞ」などと、順番を譲ったりと、周囲へとても気を遣われています。

低ナトリウム血症

低ナトリウム血症とは：血液中のナトリウム濃度が低下した状態（通常は135 $\frac{mmol}{L}$ から145 $\frac{mmol}{L}$ 程度）。倦怠感や意識障害に引き続いて、痙攣など引き起こす

*低ナトリウム血症の原因：中毒（激しい運動、心性多飲症など）心不全、腎不全、加齢によるホルモンバランスの崩れ・妊娠

*水中毒とは、多量に水分を摂取する事で、体内のナトリウム濃度が低下

する事。精神疾患、抗精神病薬を内服している人がなりやすい。

*低ナトリウム血症の症状：頭痛、倦怠感、吐き気、嘔吐など。重症化すると意識障害、痙攣など。低ナトリウム血症の治療

*水中毒の場合、水分摂取の制限。利尿薬や抗うつ薬などが原因の場合、薬剤の中止。ホルモンバランスが原因の場合、ホルモン剤の投与。

今後について

「デイサービスに来ると楽しい、嫌な事も忘れちゃう。」と言い、来室された時には、明るい笑顔が見られます。デイサービスに来る事で水分コントロールも行えます。低ナトリウム血症による意欲の低下を理解した上で、デイサービスに来て頂ける様、声掛けにも注意し、来室を促していきます。馴染みの関係を構築し、精神的不安の軽減に繋がるよう支援していきます。ご本人も希望されている自立に向けて、寄り添って行きたいと思っています。

討論会より

柳田CM：まだ関わって半年ぐらいの方で、低ナトリウム血症で入院し1日4リットルの水を飲んでいたので、近所の方がよく見てくれて、おかしくなった時も救急車で病院に連れて行ってくれたり、金銭管理がうまくいって、地域包括の方やアパートの大家さん、商店街の方々が一緒に役所に行って、本人の状態など色々話して役所の支援を受けられるようになった。院長：4リットルも水を飲むものか。柳田CM：2リットルのポットが1回じゃ足りない。非常に暑がり汗をかいている。院長：自立神経のバランスも崩れてきているのか。柳田CM：大家さんも7万いくらの家賃だったのを5万円台まで下げてくれている。ご主人の生命保険もいくらあったが、田舎の墓が震災で流されてしまったのを祖先のた

めにと立派な墓を作ってあげた。やさしい人だが、それでお金が無くなってしまった。

院長：気持ちが良いが計画性はまったくないね。この人を取り巻いている色々な要素がある。1つは水中毒。独居の不安もある。金銭面の問題もある。ご主人に依存していたが亡くなって支えが無くなってしまった。本人がしっかり頑張って活躍していけるよう支援が必要。

柳田CM：今野さんのところはどうぞでしょう。娘さんから見た感想は？



グループホーム仲間で卓球

柴山さん：ちよつと前に話したことを忘れていた。柳田CM：家ではーつとしている時間が長かったと聞いていたが、デイサービスではすごく明るいですね。

長島さん：送迎と一緒にありますが、朝のお迎えの時も明るいですよ。家の前でもすごく賑やか。うちの人や私まで明るくなっている。

柳田CM：佐々さんのところは2ヶ月になります。が、どうですか。

森山さん：楽しいとは毎回言っています。2月の始めに父が亡くなって、そこから物忘れなど悪くなっていた。

吉田：お昼の献立は毎回覚えてきてくれています。森山さん：テーブルの上に置いて毎日眺めています。デイサービスに行く日にはちと曜日の感覚が少しではあるが把握しているようで、そういう面でも良かった。

柳田CM：藤田さんのお母さんはどうですか。

藤田さん：なにか一人でしゃべっている。誰かと

会話している。

柳田CM：何か聞こえるんでしょね。

院長：藤田さんのところもまだまだ課題が解決していない。

柳田CM：介護保険や音楽ホールについて、院長からあります。

院長：介護保険についても負担を増やす方向に行っている。国民も声を上げないといけない。音楽ホールも音楽療法をやって好評だった。今度卓球台を入れる。昔の映画を上映したりもできる。また、機会があったらご案内したいと思います。

グループホーム旭町
漆原記録

ジェンカでドキドキハラハラ

今回グループホームでは日常のなかでボーリング、お手玉棒倒し、風船バレーなど毎日違ったプログラムに取り組み、グループホームのご利用者様と楽しんでいきます。本日のプログラムはジェンカなので様子を書かせて



頂きたいと思います。ジェンカとは木製のブロックを互い違いに組み上げた塔の中から順番にブロックを1本ずつ抜いて上に乗せていき、最後に崩れてしまった人が負けとなるゲームです。テーブルの真ん中に積み上げたブロックがあり、それを囲うようにご利用者様が決めました。順番を決めたため、人数が多いため揃わず何度も何度もあいこが続く、皆で「まだ揃わないの？」と苦笑いしながらようやく堀田さんのグーで順番が決まりました。

まずは先頭の堀田さんから。「どこをどう抜けばいいのかわからないけど：」と苦い顔をしながらも、人差し指でつんつんしていきうちに、1つぴよんと出てきたので「これを抜いて上には：はい。」とニコニコしながら参加して下さいました。次に森さんの番でした。優しく指でブロックが出るまで慎重に探り始め、たまにぐらぐらと揺れるのを恐れて1度手を休めてみたり「ここかな、ここだね」と言いながら無事に抜いて乗せることができた、こわばっていた表情も笑顔になりホッとした様子でした。

次に馬場さんで「えーこれ本当にできるの？」と笑いながら得意げな顔をしながら、ひよいいとも簡単に乗せることができました。次に黒田さんです。眉間にしわを寄せ真剣な眼差しで探っていく、腕が長いことから押したブロックを裏からひよいと簡単に取り無事に終えることができました。次に内田さんの番で、席から

家族と誕生日のお祝い



立ち上がるのもやつとですが、表情が真剣そのもの。崩さないように1つ1つ慎重に確かめていくが、同時に手の震えもあり少々苦戦していました。が無事に取り組むことができました。ホッとされたのか笑顔がこぼれると同時に「はあ」とため息も漏れていました。佐野さんの番が回ってきて、ブロックが高く積み上げられ少しの揺れでもビックリされていましたが、「つんつん、ひよいひよい」と仰りながら笑顔で色々なところを人差し指でつんと叩きながら「おめでとう」の言葉を繰り返して下さり、ゆっくりと慎重に抜くことができ、ご本

人様から「はあ、やつと抜けた」と笑顔で喜ばれておりました。旅田さんの番なんですが、いつものごとく何をやってもその器用さと集中力がとてもすごく、どの硬いブロックでもみんなが取れないようなところでもぐらぐら揺れようと倒さないように慎重にことを進め、取れた時に他のご利用者様と職員がほぼ同時に「おうすこいじゃん」「え、どうしたらこんな硬いところ取れるの？」などびつくりされていました。旅田さんは「そんなことないよ、ついたら抜けただけ」と笑いながら謙遜されていました。最後に本間さんです。目がよく見えないことから職員や周りのご利用者様のサポートを受けながら少しずつ一緒にブロックを引き抜き上に乗せる。ほぼ共同作業みたいにして乗せることができ「皆さんののおかげでできました」と感謝のお言葉をたくさんいただきました。皆さん「あ、楽しかった」「またやりたいね」と多くの声があり楽しまれている様子をたくさん見ることができ大変嬉しかったです。またジェンガ以外でも皆さんで楽しめるようなゲームやプログラムを考え行っていたと思います。元気に自由にみんなが生き生きと毎日を楽しめるグループホームを目指していきたいです。

グループホーム旭町 村上

臨港パーク散策報告

よく晴れた午後、当日デイケアご参加の7名様と臨港パークへ行ってきました。個人の脚力の違いが有る中で、各々の能力を充分に発揮して散策を楽しんでまいりました。緩やかな石畳の坂を力強く車椅子を押して下さる「さん。周りのペースに自分のペースを崩さないよう着実に歩まれるさん。休憩をこまめに、日陰を求めつつ歩まれるさん。開けた景色の中で気持ちも開け挑戦する意欲が高まりました。日頃の

頑張りがあった充実した散策となりました。その後のお茶タイム、いつもより美味しく頂きました。

デイケア室作業療法士

小出

「紫陽花見学」

7月14日（水）から16日（金）にかけて田島ふれあい公園まで、あい見学に行つて参りました。3日間とも天候に恵まれ、絶好のあいさい見学ができました。

現地では、あじさいが一角に数種類の色を付け鮮やかな花を咲かせていました。近寄ってみる人、匂いを嗅いでみたりと思いいに過ぎませんでした。

公園の中央には赤いグラジオラスの花が咲いており、そこまで足をのぼす方や園内を職員と共に散策する方、普段室内で過ごすのと違い、開放感を感じたのか皆さんイキイキとされていました。又、公園での歩行等で機

能訓練の一環ともなった事と思います。

その後お茶とお菓子で一時ティーブレイク。写真を沢山撮って帰って来ました。皆さん嬉しそうに笑顔が溢れていました。帰り道、口々に楽しかったという声が聞かれ満足されていたようでした。これからも、御利用者様に喜んでいただけるプログラムを行っていきたいと思います。次回は、恒例の風鈴市に出掛けます。皆さん楽しみにしてて下さい。

柳田デイサービス

山田



紫陽花バックに集合写真